



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまじっか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第40回 通算1386回 平成27年5月12日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/14 修正出席率
		59名	36名	70.6%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:メーキャップ受付13名

★会長あいさつ

滝下 勲会長



皆さん、こんにちは。前回の例会に欠席をしまして申し訳ございません。分区のゴルフに少し風邪気味で参

加をしました。やはり任期があと少しということで気の緩みに風邪が入り込みました。お陰様で風邪も良くなってきました。

ゴールデンウィークがとても良い天気です。皆さんも色々とお出掛けになられたと思います。そのゴールデンウィークの最中にネパールの地震がありました。そして、最近箱根の大涌谷の火山性地震がおこっています。世界中で、地球規模で何かが起きだしているように感じます。自然災害は防ぎようがありませんが、皆さん気をつけて、常に情報を聞くことも必要だと思います。

以前、クラブで卓話をしてくれたネパール出身のギリさんが街頭で募金活動をされていると新聞に載っていました。ロータリークラブの方も地区から義援金の要請が来るそうですので、皆さんご協力をお願いします。5月23日24日のおいでん祭に社会奉仕委員会のロータリーデーを開催します。当日、都合がつく方はお手伝いをお願いします。

昨日から春の交通安全週間に入りました。事故等には十分に気をつけて、交通安全に心掛けて下さい。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更について
新入会員候補者の通知について
合同例会について
奥三河RCのRI末梢の通知について
台湾台中松竹RCの会報の回覧

★委員会報告

社会奉仕委員会(大島嗣雄委員長)
ロータリーデー開催について

★地区研修・協議会報告

◎第1分科会

小野次年度会長



会長エレクトとして第1分科会に出席してきました。内容としては、次年度のガバナーの方針が中心でした。

RIの会長が、永田さんがボランティア活動をされているスリランカのコロombo市のロータリークラブのメンバーの方です。その会長のテーマが日本語訳で「世界へのプレゼントになろう」英語ですと「Ba a gift to the world」です。ヒンズー教の教えの中から、自分の才能は天から授かったものであるから、それを生きている間に世の中に返しなさいという考え方から来ているようです。物を与えるという意味ではなく、ロータリアン一人一

人が持っている才能、職業、経験を世の中に活かして奉仕をすることと理解しています。

次年度の加藤ガバナーは、ここ近年にないガバナーっぽくないガバナーです。製造業の方で気さくな感じの方です。方針は、「ロータリーの原点に学ぶ ～友情と寛容の輪を拓けよう～」です。一番印象的だったのが、ロータリーバッジをつけてほしいと言われました。例会だけではなく、例会の外でもバッジをつけて、ロータリアンとしてのプライドを持って地域に活動してほしいということです。



◎第2分科会

山本次年度会員委員長



第2分科会の報告をさせていただきます。会員増強、クラブ奉仕、親睦活動、SAAを対象にした分科

会でした。テーマが「クラブの活性化が会員増強のみならず、退会防止は火の用心活動から」ということで、ロータリー歴60年の盛田和明パストガバナーをはじめ5名の方がアドバイザーとなりお話を聞きました。

盛田パストガバナーは、60年にわたり長くロータリーを見て来ましたが、今日のロータリーは、自分がやるではなく、誰かがやるだろうという、大企業病になってしまった。そして日本もイギリス同様にR Iから独立をして、自国に合ったロータリークラブとすべきだと、冗談とも本気とも取れる発言がありました。奉仕は、恵まれている人なら当然の行為であって、ロータリークラブだから奉仕をするのではない、ロータリークラブは良い

友達を見つけることがポイントで、一番のプラスであると言われていました。

大島パストガバナーからは、ロータリークラブの原点は出席することである。脳梗塞を患い、アドバイザーとして話をするのは大変厳しい役ですが、依頼がある限り出席をするという精神でここに来ました。思うようにしゃべれず必死に話をされる姿に胸を打たれました。

次期会員増強委員長の光岡さんは、退会者の4割以上が6月に退会をするので、火の用心活動と称する声掛け活動が最も大切なことである。退会理由として、ほっておかれる感が漂う、友人ができないなど、3年未満の退会が目立ちますので、声掛けをして、仲間であることを伝え、親睦、クラブの活性化を図ることが退会防止に繋がる有効的な手段であるとのことでした。

会員増強は、いかに退会者を減らすことができるかが、最大のポイントである。入会者増のポイントは、息子を入れること、女性会員を増やすことだそうです。

◎第3分科会 笠原次年度雑誌広報委員長



第3分科会に次年度雑誌広報委員長として出席してきました。テーマは「ロータリーを社会に認知されるための広報

のあり方」で、マスコミを大いに活用しよう。もっとロータリーが知られて良いのではないかということです。ニュースリリースを出して、ロータリーの活動を広く地域のマスコミに取り上げてもらいましょうということです。

この点については、当クラブは比較的、新聞に活動が掲載されていると思います。次年度は、創立30周年ですので、それに伴う事業をニュースリリースで発信することが大事だと思いました。

I Tの活用について話がありました。各クラブのホームページの活用するようということです。地区のホームページが紹介されていましたが、しっかりと作成されていますし、様々な情報が載っていますから、是非、皆さん地区のホームページを一度見て下さい。

◎第4分科会 来山次年度社会奉仕委員長



第4分科会は、社会奉仕関連部門で、「地域に目を向けた奉仕活動」というテーマで行われました。地区補助金、広報

活動、環境保全、RCC活動について説明がありました。

説明を聞いて、初耳だったのがRCC活動のことです。RCCは、ロータリアン以外の人々がロータリーの価値観を共有し、奉仕に活動に尽力するグループであり、ロータリーの奉仕活動のパートナーです。ロータリーファミリーの一員です。ロータリーが立案をして、共有できる一般の方集めて行っていくわけで、それが一般の人たちにロータリーをってもらう機会になるということです。

◎第5分科会 鈴木次年度国際奉仕委員長



第5分科会は、国際奉仕部門で「全ての人に何もかもできなくても、誰かに何かができる」という

テーマで行われました。

ポリオ撲滅についての話がありました。全世界のポリオ撲滅がもうすぐ達成されるので、その次は識字率が低い国があるので、識字率向上に取り組むという話がありました。

◎第6分科会 大場次年度青少年奉仕委員長



第6分科会は、「青少年ファミリーのさらなる交流と認知度向上」というテーマで行われました。青

少年奉仕関連委員会で、青少年奉仕委員会、

インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会という5つの委員会の集まりでした。

各委員会の報告があり、その後テーブルに分かれて意見交換が行われました。青少年奉仕委員会は、残り4つの委員会を束ねる委員会だと言われました。当クラブの活動について聞かれるのですが、インターアクトもローターアクトもRYLAも青少年交換もやっていないので、ちょっと辛い意見交換会でした。

◎第7分科会 杉浦次年度R財団委員長



第7分科会は「期待されるロータリー財団」というテーマで行われました。ロータリー財団は、ポリオ、財団奨学生、

医療専門チームを海外に派遣するなど、平和を推進していく委員会です。内容が非常に難しいです。国際ロータリーのホームページのMy Rotaryに登録すると、R財団の活動が詳しく閲覧することが出来ますので、是非見て頂ければと思います。

2018年には、世界中からポリオを撲滅しようということで活動をしています。世界から小児麻痺の子ども達がいなくなるということは、非常に喜ばしいことだと思います。この活動を進めて行くのに、皆さんに寄付をお願いしないといけません。そして、ロータリーカードの推進です。ビジネスカードもあります。このカードを使って頂くことで、支払額の0.3%R財団に寄付されます。ご協力お願いします。

◎第8分科会 太田次年度米山委員長



第8分科会はAとBがあり、米山奨学委員会が「未来へ向かって世界平和への懸け橋となろう」、職業奉仕委員会が「ク

ラブの職業奉仕委員会活動とは何をすればよ

いのか」というテーマで行われました。私は、米山奨学委員長してAの分科会に出席をしました。

米山奨学会は「今後の日本の生きる道は平和しかない。それはアジア、世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎い入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くことが、日本のロータリーにもっともふさわしい国際事業ではないか」というのが米山奨学会の創立の背景にあるそうです。創立してから60数年経ちますが、民間外交として世界に平和の種を蒔くという使命は現在も一貫して変わらず続いています。

現在の流れとして、中国に10のロータリークラブを作るという目標で、3つのクラブが出来ています。米山奨学生だった人たちが、そのクラブのメンバーにもなっています。

昨年度、地区で74名の奨学生を募集して、そのうちの30名が選考に受かって、現在、奨学生となっています。その中の10名が中国国籍です。

時期が来ましたら寄付金のお願いをします。地区の平均が1万円ちょっとで、地区の目標は2万円だそうです。ご協力お願いします。



★ニコニコボックス

大沢茂樹会員	フェニックスの応援お礼
加藤哲山会員	誕生日を祝って頂き
波多野四郎会員	〃
小野喜明会員	〃
伊藤正幸会員	〃
井指光基会員	〃
細井 勉会員	結婚記念日を祝って頂き
山本博史会員	〃
石黒貴也会員	〃
水野太一会員	事業所創業を祝って頂き
来山健一会員	〃
柴田 勝会員	いろいろ祝って頂き
大場 篤会員	〃
鈴木 忍会員	〃

◎地区研修協議会の様子



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員